

平成22年 5月10日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅの制御棒挿入操作の
一時中断及び完了について

1. 発生日時： 平成22年 5月10日（月）20時50分頃
（一時中断時刻）
2. 発生場所： 高速増殖炉研究開発センター
高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉建物（管理区域）
原子炉上部室
3. 状況：

高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力28万kW）は、本日の炉心確認試験を終了し、粗調整棒（CCR-1）を全挿入しました。続いて、20時33分から微調整棒（FCR-1）を全挿入する操作を行い、20時39分に手順書に従って微調整棒を残り6mmの位置で止めました。その後、微調整棒のインチング（間欠挿入）操作を行い、残り3mmの位置でインチング操作を継続したが、指示値に変化がなかったことから停止したと思い、20時50分頃、保守担当課の立会いのもとで荷重等に異常がないかを確認するため、制御棒操作を一時中断しました。

原因は、運転員による制御棒のボタン操作が不十分であった（長押しするところをしなかった）ものと推定されます。

その後、異常がないことを確認し、22時37分からスイッチを長押しした操作を行い、22時38分、当該微調整棒の全挿入を完了しました。本事象は、機器の故障ではありません。

環境への影響はありません。

以上